

スマート薬箱による服薬アドヒアランス支援モデルの実証を開始

— 神奈川 ME-BYO リビングラボ 実証事業に採択 —

横浜薬科大学 薬学部 臨床薬剤学研究室の 長嶋大地 講師 は、SMK 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：池田靖光）および一般社団法人川崎市薬剤師会（神奈川県川崎市、会長：伊藤啓）との共同で、服薬支援デバイス「スマート薬箱」を活用した服薬アドヒアランス（服薬遵守）向上モデルの実証事業を開始しました。本事業は、神奈川 ME-BYO リビングラボの実証事業として採択されましたことをお知らせいたします。

本実証では、スマート薬箱のアラーム機能と服薬行動記録を活用することで、患者さんの服薬行動を可視化し、薬剤師がデータに基づいた服薬支援を行う新たなアプローチを検証します。シンプルで実用的なデバイスと薬剤師の伴走型支援を組み合わせることで、服薬行動変容および薬剤師による個別最適な服薬支援の確立を目指します。

■神奈川 ME-BYO リビングラボ

神奈川県では、超高齢社会を乗り越えるために、未病コンセプトに基づき県民の意識・行動変容と未病産業の持続的発展を促し、健康寿命の延伸を図るヘルスケア・ニューフロンティア政策を推進しています。

「神奈川 ME-BYO リビングラボ」は、県民がより安心して未病改善の実践に取り組めるよう、地域や職域における健康課題の解決や新たな社会システムの構築に資する未病関連製品・サービスの事業化、産業化及び社会実装を促進します。

神奈川県が、県内市町村や CHO 構想（健康経営）を実践する企業、アカデミア等と連携し、製品・サービスの機能・効果等を検証する実証フィールドのマッチングを支援するとともに、その実証結果の評価を行います。

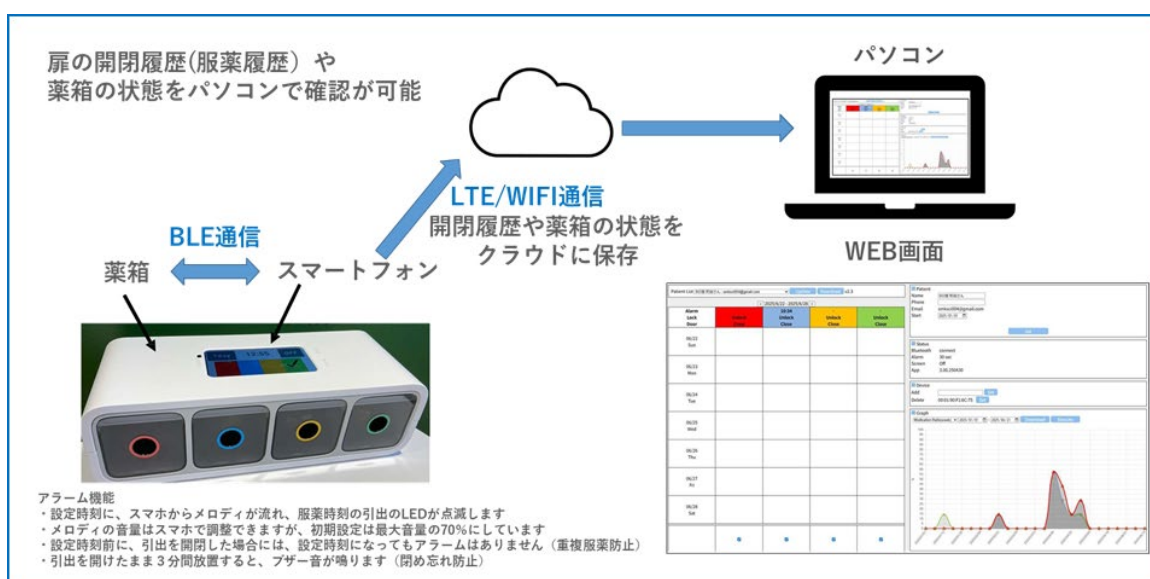
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/bs5/cnt/f536534/index.html>

■ 概要

服薬アドヒアランス（服薬遵守）は、疾病治療における臨床的転帰を左右する重要な要素ですが、特に慢性疾患治療中の患者さんの中には、「飲み忘れ」や「服薬時間を意識できない」という理由で、適切にお薬を服用することへの悩みを抱えている方がいます。一方で、薬剤師は、服薬フォローが制度上義務化されているものの、服薬指導の機会が限られている点や患者さんの自己申告に頼る聴取のため、服薬実態を十分に把握できないという課題があります。そこで、服薬時間をアラーム機能で知らせ、開閉時間を記録する「スマート薬箱」は、患者さんと薬剤師の両視点においても、それぞれの悩みを解決する可能性があります。

本実証では、スマート薬箱のアラーム機能が与える患者さんの行動変容を探索するとともに、薬剤師による個別最適な服薬支援の有効性を検証します。本実証は神奈川 ME-BYOリビングラボ実証事業として実施され、川崎市薬剤師会会員薬局の在宅医療を利用する患者約 20 名を対象に、3 か月間の比較介入研究を行います。そして、科学的根拠と社会的妥当性の両面から、持続可能な服薬支援体制の構築を目指します。

スマート薬箱：SMK株式会社



■ 分担体制

- ・ SMK 株式会社：スマート薬箱の開発および提供
スマート薬箱製品サイト（SMK 株式会社）：
<https://www.smk.co.jp/ja/products/lineup/unit-modules/smart-pill-box>
- ・ 一般社団法人川崎市薬剤師会：実証フィールドの提供およびマッチング
<https://www.kawayaku.or.jp/index.php>
- ・ 横浜薬科大学（講師 長嶋大地）：研究デザインの提案およびデータ解析、研究統括
https://www.hamayaku.ac.jp/about/teachers/post_115.html

■ 研究登録情報

本研究は、UMIN 臨床試験登録システム（UMIN-CTR）に登録されています。

登録番号：UMIN000059355

登録名：スマート薬箱による服薬アドヒアランス改善効果の検討

URL：https://center6.umin.ac.jp/cgi-open-bin/ctr/ctr_view.cgi?recptno=R000067806

■ 実施期間

2025 年 10 月～2026 年 3 月（予定）

■横浜薬科大学（都築学園グループ / （学）都築第一学園）

学長：都築 明寿香

都築学園グループは、「個性の伸展による人生練磨」を建学の精神とし 1956 年に創立。

2006 年、横浜ドリームランドの跡地に開学した横浜薬科大学は、薬剤師養成の 6 年制 3 学科（健康薬学科・漢方薬学科・臨床薬学科）と研究者、技術者、教員養成の 4 年制学科（薬科学科）の 4 学科体制。高度でより豊かな知識を有し、また、人の苦しみを理解し、共感し、慈しむ”惻隱の心”を持つ医療人も育成に取り組んでいます。

【本件に関するお問い合わせ先】

横浜薬科大学 メディアセンター 担当：山田 義法 / 東山 菜津子

TEL：045-859-1355

Email：media@hamayaku.ac.jp